

現代世界は、2万発の核兵器と400基の原発を先頭にして、金儲け至上主義による大量生産・消費・廃棄＝浪費の道を突き進んできましたが、それがここ日本で2つの点で破綻しました。一つは、3.11東日本大震災による地震津波被害とその人災による拡大と、その典型としての東電福島第一原発クライシスと広範囲の放射能汚染として。

二つは、孤立無援社会の蔓延＝人間社会の崩壊として。これは、外形的には、溢れる商品に囲まれて誰とも口を聞かなくても一日を過ごせる社会になったことによって、内面的には、「自己責任論＝敗者となっても社会を恨まず自分を恨め論」による支え合い拒絶感によって。

重要なことは、東日本大震災によって、日本の多くの人々が現代世界がこれまで歩んできた道では私たちが生きていけない、生きてゆくには支え合いが大切だと直感的に気付いたことです。それは、誕生以来の人類の原点である共同性＝支え合いを礎(いしずえ)にして生きる社会です。被災地でも、それ以外のところでも、この道に一步を踏み出す時なのです。具体的には、例えば

1 大震災復旧復興では

ご近所の寄り合いの機会を徹底して保障するなかで住民の再建へのパワーを引き出す
消費税増税でなく、賠償金、大企業や国民からの支え合い募金によって復興財源をつくる

2 危険な原発を全廃し地球温暖化も防ぎ、非浪費＝省エネ社会を創るために、家庭地域共同の力による電気・エネルギーの地産地消の目に見える取組みを大胆に進める

3 国際社会でも

国際災害緊急援助体制の平素からの確立など、北東アジア地域の連携強化
日本が地球上の核兵器・原発の全廃、非浪費＝省エネ社会確立をリードする

これらは、ひと言で象徴的に言えば、「人類の支え合いの力を国の内外で復活させて、核兵器・原発・地球温暖化いずれもなくす道」です。

このブックレットは世界と人類を救う本、と自負しています。手軽なうえに、表紙の真っ青な「9条風揚げ」写真がとってもきれいという特徴を生かし、多くの人々に、直感的に感じていることを知性にまで高めてもらえる力になる、それは、人類がめざすべき世界を創るためのエネルギーになると確信しています。インターネット書店がお求めやすいです。当事務所受付では、消費税分を割り引いた600円で販売しています。